



提
燈
山
車



西
山
筋
原



東
山
砂
原

高さ 6 m 程もある四角型と三角型の提灯山車。若衆会を中心にその場で組まれるのが特徴。

表 ……『川中島の合戦』 表 ……『女城主 直虎出陣』
裏(見送り)『牛若丸と弁慶』 裏(見送り)『ゆかいな仲間たち』

多久山笠の見どころである、提灯山車の力強い曳き廻しを行っているのが若衆会のみなさんです。運行を担う若衆頭や、組み立てを担う組頭、曳き手など、一つの山車に約30人が必要です。その若衆会を取りまとめている米満正幸さんにお話を伺いました。



「提灯山車を曳くには経験が必要です。毎年、山笠の1か月前から山車の点検や練習を重ね、みんなの呼吸を合わせています。昨年、若衆会では多久山笠を市全体の祭りにするため『感動・感謝・交流』という理念を掲げ、みんなの気持ちを一つにしました。節目となる70回には、運行ルートや時間などを見直し、もっと多くの方に多久山笠を感じていただきたいと思っています。若衆会はあなたの参加をお待ちしています!」

参加対象
原則18歳以上の市民。
親の許可があれば高校生も可

「提灯山車を曳くには経験が必要です。毎年、山笠の1か月前から山車の点検や練習を重ね、みんなの呼吸を合わせています。昨年、若衆会では多久山笠を市全体の祭りにするため『感動・感謝・交流』という理念を掲げ、みんなの気持ちを一つにしました。節目となる70回には、運行ルートや時間などを見直し、



▲ 提灯山車の練習風景
取材協力
多久山笠 若衆会筆頭取締
よねみつまさゆき
米満正幸さん